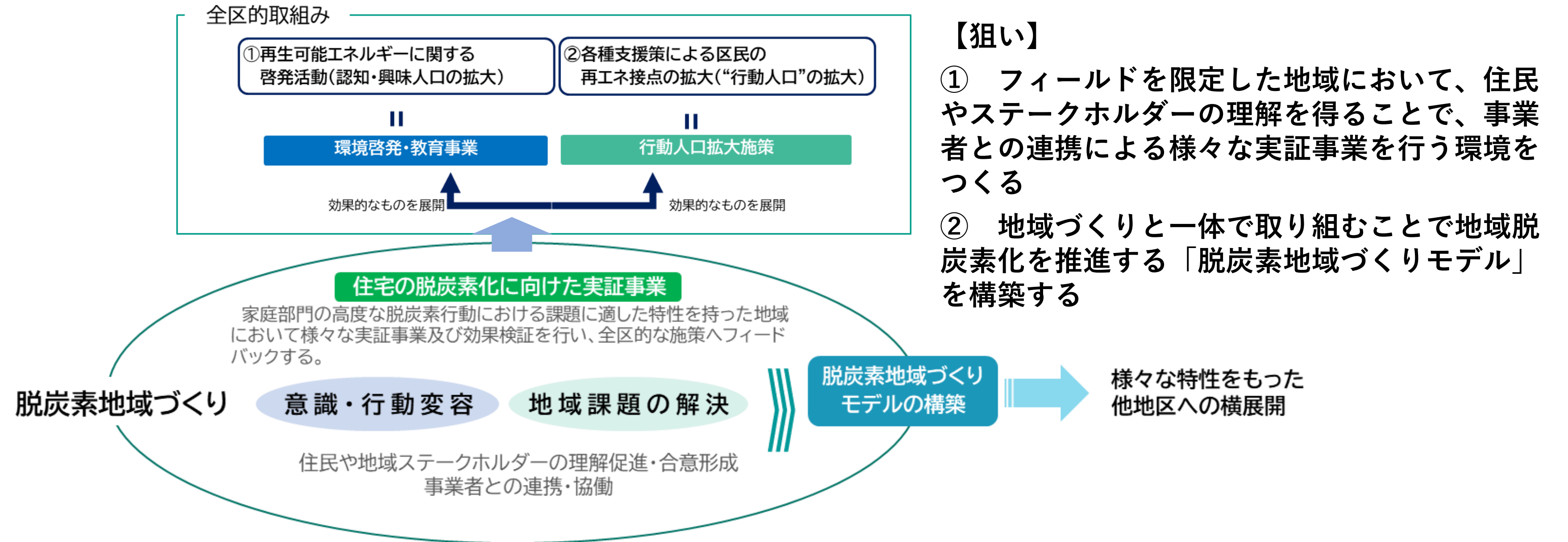


家庭部門の高度な脱炭素行動に向けた効果的な事業モデルの構築

住宅地の脱炭素化を促進する取組みとして、地域づくりと一体で行う地域脱炭素事業を地域住民と一体で取り組む「脱炭素地域づくり」を行う。地域課題の解決を図る地域づくりと脱炭素化を一体で行うことで、地域脱炭素に対する地域の機運を醸成し、地域住民の理解の下で住宅の脱炭素化に対する課題の様々な実証事業を実施し、成果を全区に展開していく。

実施にあたっては、様々なインフラ事業者や先進技術を有する事業者、地域の学校・事業所・交通機関などのステークホルダーと連携することで、事業の効果を向上させていく。

まず、成城地区を対象に実施（令和7年度～11年度）。そこで得た地域づくりの知見や事業実施のノウハウをふまえて、他地域に随時、横展開していく。また、本事業における実証の成果は、随時、本ロードマップにおいて、各事業への実装や新たな施策展開などを図っていく。



# 最初のモデル地区として成城地区（成城1～9丁目）での取組みを進め、得られた成果の展開を目指す 既存住宅を中心に地域の再エネ「お裾分け」を実現し、地域の絆を活かして脱炭素と地域課題の解決を図る

豊かな文化と歴史を持つ「成城」を舞台に、住民の価値観やライフスタイルの育成に焦点を当てた、コミュニティ主導のアプローチを展開する

## 目指すモデル

### 成城らしい脱炭素地域ライフスタイルモデルの創造

住民参加の行動変容モデルとなる土壌があり、並木道や緑豊かな住宅地の景観など地域が大事にしてきた独自の地域資産が豊富な成城地区を対象として、地域の持続可能な成城らしいライフスタイルモデルを住民と共に創造していく。

### 目指すモデル

これまでの取組

持続可能かつ心豊かな  
ライフスタイルの醸成

経済合理性による  
脱炭素行動の推進  
住民の個人の意思・  
判断に委ねる

成城の地域特性を生かし、経済性のみならず、持続可能で心豊かな暮らしのモデルを率先して実現

## 主要な取り組み（2030年度まで）

### 意識・行動変容

【2030年度目標】  
「(仮称)脱炭素サポーター」数：  
5,000名

#### ① 成城魅力発信プロジェクト(広報)

事業者や地域ステークホルダー、地域住民との協働による地域の魅力や新たなライフスタイルを発信し、地域から脱炭素への関心喚起を目指す。

#### ② 学校連携による環境教育

地域の学校と連携した環境教育プログラムの作成や授業での活用、地域の子どもへの展開により、関心喚起を目指す。

#### ③ (仮称)ちいき脱炭素プラットフォームの検討

意見交換や情報を双方向で受発信できるプラットフォーム構築し、地域をつなげるネットワークづくりを目指す。

### 地域課題の解決

【2030年度目標】  
GI認知率：50%  
みどり率：35%

#### ① みどり等の環境価値の見える化(みどり等)

CO2吸収源となる樹木等の機能を多様な視点から可視化し、地域に発信することで、みどりの保全と創出を目指す。

#### ② 自立分散型電源の普及促進(防災)

普及促進(PR)や導入手続きの補助・支援、相談窓口の構築等により、自立分散型電源となる太陽光発電などの普及を目指す。

#### ③ 再エネコミュニティの構築(コミュニティ)

再エネの地産地消ネットワークを通じた地域のコミュニティ構築を目指す。

### 住宅の脱炭素化に向けた 実証事業

【2030年度目標】  
太陽光設備導入率：20%  
再エネ導入率：50%

#### ① 家庭や住宅のニーズに合わせた再エネ導入支援

家庭向け脱炭素コンサルティングの実証、利便性の高い相談窓口の実証などにより、効果的な支援策の構築を目指す。

#### ② 地域電力地産地消ネットワークの構築と需給管理

P2P個人間電力取引の実証、地域DRの実証、自立分散電源の地域ネットワーク化などの実証により、地産地消ネットワークの構築を目指す。

#### ③ その他、事業者と連携した実証事業

住民のライフスタイル転換の働きかけや住宅の再エネ創出の拡大、電力の見える化など事業者と連携した実証事業により、地域脱炭素を目指す。

【事業期間 2025～2030年度】

2024年度

説明会や意見聴取、  
普及啓発、先行事業の実施など

2025年度

成城地区での脱炭素  
地域づくり事業の実施

2030年度

他地域への横展開

【令和7年度の取組み】

◆意識・行動変容 広報、イベント開催など(12,500千円)

◆地域課題の解決 みどり等の環境価値の見える化(2,546千円)

◆住宅の脱炭素化に向けた実証事業(32,003千円/うち特財29,528千円)

| 大項目           | 事業名                       | 概要                                                                                                                     |
|---------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 成城魅力発信プロジェクト  | 普及啓発・機運醸成を図る広報            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 広報誌の発行</li><li>・ 動画やSNSの配信</li><li>・ イベントへの出店</li><li>・ 住民参加型事業（検討中）</li></ul> |
|               | 地域人材とのネットワーク構築            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ SNSの活用</li><li>・ 懇談会（検討中）</li></ul>                                            |
|               | 環境教育                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校向けに、授業で活用できる教育コンテンツの提供</li><li>・ 成城大学との連携による地域課題の実践研究への協力</li></ul>          |
| 地域課題の解決       | グリーンインフラ・みどりの価値普及啓発事業     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ みどり等の価値の可視化・創出・発信</li></ul>                                                    |
|               | 地域活動支援事業                  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域課題の解決等の活動を行う区民団体の支援</li></ul>                                                |
| 地域脱炭素に向けた実証事業 | ①P2P電力取引ネットワーク構築実証事業      | 電力の地産地消を目指す実証事業の実施                                                                                                     |
|               | ②住宅向けフレキシブルソーラー実装に向けた実証事業 | 太陽光発電設備の設置が困難な住宅への設置促進を図るための実証事業の実施                                                                                    |
|               | ③住宅診断実証事業                 | 太陽光発電設備の設置についての新たなアプローチと地域課題解決を図る実証事業の実施                                                                               |
| 検討中の事業構想      | 集合住宅への再エネ導入促進事業           | 集合住宅向けに管理組合の収益源となる太陽発電設置の促進事業を検討する                                                                                     |
|               | 太陽光発電設備の活用事業              | 住宅の太陽光発電設備を地域の自立分散電源として活用し、新たな地域電力ネットワーク等の構築事業を検討する                                                                    |